

# 教育ニュースレター vol.3

6月5日にレベルⅡ研修を行いました！

レベルⅡでは、「根拠に基づいた看護実践（看護過程の展開）を通して、自己の看護観を高める」を教育のねらいにしています。そして各自の看護実践をケーススタディとして取り組んでもらいます。

集合研修ではケーススタディに必要な知識を3回シリーズで学習し、最後に発表会を予定しています。

初回は、ケーススタディの文献を読み、根拠ある看護実践について考えました。

## 研修の内容

### ・ケーススタディを読む

学会誌に投稿されたケーススタディを読んでもらいました。

### ・意見交換、発表

読後の感想から、このケーススタディにおける根拠ある看護実践を考えました。



## 研修生から出た意見

- ・今の病棟の患者さんへの関わりで参考になった。
- ・根拠を持って看護を行う意味づけができた
- ・文献の内容を自分に置き換えて根拠を考えることが難しかった。
- ・基本的なことからはまり、分かりやすかった。

学会誌に掲載された、ケーススタディを読んで、  
根拠ある看護を考えています  
みんな真剣！



用いたケーススタディのタイトル  
-自傷行為が激しい児の  
抑制時間を減らす試み-

ちなみに、図書室にある、  
『第33回日本看護学会論文集 小児看護 2002』  
に載っています！

## 病棟へ

今後の研修とケーススタディの計画チャートを渡しています。  
7月の研修では作成要項をお渡しします。病棟で指導する役割の人にも分かりやすいものになると思います。  
まずは、9月末までしっかりと根拠ある看護展開ができるよう、サポートを宜しくお願いします。